

事務事業名	スマートエネルギー推進事業				担当	市民生活部 環境課 環境対策係		
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～			<input type="checkbox"/> 総重 (総合計画重点事業) <input type="checkbox"/> 総新 (総合計画新規事業) <input type="checkbox"/> 戦拡 (総合戦略拡充事業) <input type="checkbox"/> 戦新 (総合戦略新規事業)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 毎年度実施 (開始年度 21 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		
施策名	4	自然環境の保護と地球温暖化対策の推進						
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間			
法令根拠	真岡市住宅用太陽光発電システム設置補助金交付要綱							
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	1. 保健衛生費	4. 環境衛生費				
予算科目	2. 国民健康保険特別会計	2. 保険給付費	1	2				
予算科目	3. 後期高齢者医療特別会計	2. 後期高齢者医療広域連合納付金	34	4				
事業概要	・効率的なエネルギーの利用や地球温暖化防止等についての、広報活動や環境学習をおこなうとともに、「スマートエネルギーもわか」の推進のための事業を講じる。 ・再生可能エネルギーの普及促進を図るため、住宅に太陽光発電システムを設置する市民を対象に設置費用の一部を補助する。 【補助金額】1kW当たり1万円(平成21年度 5万円/kW、平成22年度～ 3万円/kW、平成28年度～ 2万円/kW、平成30年度～ 1万円/kW)、補助上限4万円(4kWまで)							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段 (主な活動)	④ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) の推移						
2年度実績 ・市民向けの環境学習会の開催 ・住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事務  3年度計画 令和2年度と同様	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 環境学習会の開催数	回	1	1	1	2	3
	イ 住宅用太陽光発電システム設置補助金交付数	件	134	125	107	61	100
	ウ						
	エ						
オ							
② 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) の推移						
市民	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 世帯	世帯	28,756	29,253	29,734	30,056	30,581
	イ 人口	人	79,542	79,414	79,324	78,874	78,592
	ウ						
	エ						
オ							
③ 意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図された対象の程度) の推移						
・エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識の向上や再生可能エネルギーの利用を促進する。	名称	単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
	ア 環境学習会参加人数	人	23	22	23	40	50
	イ 住宅用太陽光発電システム設置補助件数(延べ)	件	1889	2014	2121	2182	2282
	ウ						
	エ						
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	29 年度(実績)	30 年度(実績)	31 年度(実績)	2 年度(実績)	3 年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	10,269	4,650	4,062	2,349
	事業費計 (A)	千円	10,269	4,650	4,062	2,349	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 市の政策体系に結び付き、社会環境や住民ニーズ等を考慮した上で目的は妥当か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識を向上させることや再生可能エネルギーの導入補助は、良好な生活環境の保全に結びついている。
	②公共関与の妥当性 市が事業に関与する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地はない <input type="checkbox"/> 見直し余地がある (評価理由) エネルギーの大切さや地球温暖化防止等の意識を向上させることは、行政の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・1枚目の②「対象」③「意図」は適切か？ ・対象を限定・追加する必要があるか？ ・意図を限定・追加する必要があるか？	<input type="checkbox"/> 対象・意図を見直す必要はない <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある (評価理由) 全市民対象なので適当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるかどうか？ない場合の理由は適切か？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある (評価理由) 環境学習会や住宅用太陽光発電システム設置補助は、現時点において、スマートエネルギー推進に有効な手段である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 ・類似事業はないか、統合や連携はできないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携ができる(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業と統合・連携できない(類似の事務事業名： ) <input type="checkbox"/> 類似事業はない (評価理由) スマートエネルギーや地球温暖化防止に関する事業は、類似事業がなく、統合連携ができない。
効率性評価	⑥事業費の削減余地 ・成果を下げずに実施主体の見直しによりコスト削減をできないか？ ・実施方法の適正化によりコスト削減をできないか？	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある (評価理由) 住宅用太陽光発電設備設置補助は、設置費用が低減していることから、補助制度開始のH21年度の5万円/kWから数回見直しを行い、H30年度から1万円/kW・上限4万円と随時見直しを行っている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 引き続き環境学習や再生可能エネルギーの導入補助を行い、良好な生活環境の保全に努める。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 課題、課題の克服の方向性 国・県の脱炭素社会の実現のための施策等を注視し、市町村に求められる役割や真岡市の現状に合わせた事業の調査・研究を進める。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							